

「長～い、二学期の締め括りの月となりました！」

二学期はまさに、八月下旬の「酷暑」から九月の「残暑」十月、十一月の「秋冷」そして、十二月の「初冬」へと季節の変化が著しい期間でした。その中で、数々の教育活動が展開され、たくさんの星をつなぎ合わせて「一つの大きな和から」を創って来た学期でした。

健康・安全に感謝しながら、それぞれの二学期、それぞれの今年、二〇一八年を振り返り、新年の抱負などを語り合う機会にして欲しいと思います。

来年は、干支の最終ランナー亥年です。上小も締め括りの年となります。感慨深いものがあります。

風登原

第34号

校長:上間忠彦

学校教育目標)

- 自ら考え進んで学習する子
- 思いやりの心で行動する子
- 進んではたらき最後までやりぬく子
- 進んで体を鍛える子

町クリーンキャンペーン

十二月二日(日)は、町のクリーンキャンペーンの日でした。各行政区ごとに取組を行いました。



生活委員会の次に、知念巧先生が「整理整頓」についてお話ししました。

生活委員会 今月の目標



■月目標「身の回りの整理整頓」をする



■十二月から配置されました、「特別支援員」の前田悠里先生です。本部町の東に在住のことです。よろしくお願ひ致します。

新任「特別支援員」紹介



●「整理」とは、要らなくなったものを処分することである。

●「整頓」とは、必要なものを使いやすく並べ替えることである。

自分の机やロッカーの中をもう一度確認して、整理・整頓を心掛けましょう。

「和衷共済(ワユキヨウカイ)」: 心を合わせて、助け合い、一致協力して仕事をする。

風登原

第34号②

「上小中『人間力』向上委員会実践報告会」!



■開会の挨拶 ↓ 上中 P会長・名城政己



■委員長の挨拶 ↓ 上小 校長・上間忠彦



■家庭教育部会・謝花行政区子ども会世話係 ↓ 佐藤千絵子



【6年生】



【5年生】

●小学生の発表 ●実践英語活動



●県お話し・意見発表 小6・眞志堅詞音 中3・仲村 日花



●中学生の発表 ●短期留学体験発表 3年・友寄 美空 3年・小濱 優希



■閉会の言葉 ↓ 上中校長・新里勲



■激励の挨拶・教育長



■町P連・功労者表彰

「委員長の挨拶から」

本日は、足下のぬかるむ中お越しいただきまして有り難うございます。

さて、現在の中学二年生（14才）が、高校三年（18才）になったとき、「十八歳成人」が実施されます。学校や家庭、地域も「王者教育」「消費教育」「金融・金融教育」などこれまで以上に充実させ、社会との繋がりを強化することが喫緊の課題であります。

そんな中、最近の高校生三十万人に対し意識調査した結果の中から、次のような数値があります。

- 二人に一人が「自分は能力が無い」と答え、
- 三人に一人が「自分は孤独だ」と答え、
- 五人に三人が「自分はダメな人間だ」、
- 五人に四人が「いつもなんだか疲れてる」
- 五人に三人が「自分

が参加しても、社会は変わらない」と諦めの言葉を発している。

20世紀までの社会は、楽で快適な生活を求めた時代であった。便利になると何かが「失われる」ところ。そのような問題を解決する」のが21世紀の教育です。「人間力」なのです。

点数化できる「認知能力」と点数化できない「非認知能力」を合わせ持つのが「人間力」であろう。これからの「AI時代」に、益々、必要とされるのが「人間力」であろうと思えます。

感性」や「感情」が「あり、ゆずう」が「き、ついでに」ができる、AIにはないものを人間は研ぎすまして行かねばならないと思えます。

本日の会を、自分の心にスイッチを入れるきっかけに、意思のある生活を送るきっかけにしたい。ただただ「ありがとう」です。ご臨席の皆様には、心より感謝致します。

「和衷共済（ワチヨクサイ）」：心を合わせて、助け合い、一致協力して仕事をする。